



コカ・コーラと FIFA がパートナーシップ契約の延長を発表

世界規模で展開される 「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ™ トロフィーツアー」が 2006年2月に東京で開催

＜2005年11月22日 南アフリカ共和国ケープタウン発＞ ザ コカ・コーラ カンパニーと国際サッカー連盟(FIFA)は 22 日、パートナーシップ契約の更新を発表しました。同時に、世界規模で展開する初の試み「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ™ トロフィーツアー」の詳細について発表しました。

サッカーにおける世界の頂点を象徴するたった 1 つの FIFA ワールドカップ™トロフィーが、28 カ国 31 都市を巡ります。日本では 2006 年 2 月 25 日(土)に東京にて開催されます。

FIFA のジョゼフ・S・ブラッター会長とザ コカ・コーラ カンパニーの E・ネビル・イズデル会長兼 CEO は、新たに設けられた FIFA パートナーの最上層カテゴリーにコカ・コーラを引き上げるパートナーシップ契約のニュースとともに、3 カ月にわたって世界 31 都市を巡るトロフィーツアーのスケジュールを発表しました。

イズデル会長はまた、2006 FIFA ワールドカップ™消費者プログラムを通じて世界の多くの国々で展開される予定の「コカ・コーラ」の新しいスローガン「We All Speak Football」をこの日発表しました。

世界最大の飲料企業と世界のサッカーを統括する組織のトップによる共同発表は、2010 FIFA ワールドカップ™の開催国である南アフリカ共和国のケープタウンで行われました。

ワールドワイド・パートナーシップ契約を延長

ザ コカ・コーラ カンパニーは国際サッカー連盟(FIFA)の最も長期にわたる企業パートナーの 1 社です。1978 年から続く FIFA ワールドカップ™オフィシャル・パートナーシップを含め、1974 年以來一貫して公式な関係を維持してきました。コカ・コーラは 1950 年以來、すべての FIFA ワールドカップ™においてスタジアム広告を展開してきました。パートナーシップの延長期間は 2007 年から 2022 年までの 16 年です(前期 8 年と、一定の条件の下で自動更新される後期 8 年)。

ザ コカ・コーラ カンパニーは、非アルコール飲料カテゴリーの FIFA パートナーとして、最高レベルの協力関係と長期的な取り組みを含めたスポンサーシップ契約を締結しました。FIFA ワールドカップ™を含むすべての FIFA 主催大会に対するスポンサーシップ権や、マーケティング資産、増大するメディアへの露出および FIFA の特別イベントや活動展開を活用することができます。

FIFA パートナーは、このたび FIFA のマーケティング & テレビ部門の統括のもと打ち出した方針に基づき、世界中あらゆる人々によるサッカーの発展促進を目指す新たな枠組みに参画します。その中で、コカ・コーラは資金、製品、サービスの提供などを通じ、幅広く FIFA 主催イベントを支援します。

ブラッター会長は次のように語っています。

「最も誠実なパートナーの 1 社であるコカ・コーラとの契約更新は、サッカーとコカ・コーラの広範かつ永続的な結びつきを物語るものです。バックグラウンドにかかわらず、多くの人々にサッカーに触れる機会を提供してきたコカ・コーラとその手厚い支援に深く感謝しています。」

イズデル会長は次のように語っています。

「本日コカ・コーラにより世界で最も人気のあるスポーツとそのファンになされたコミットメントは、私たちにサッカーを通じて人々の関係をより密接なものとするための新しい機会をもたらしてくれました。本日発表した、新たなパートナーシップにより、私たちのサッカーおよび FIFA との歴史ある結びつきは、より一層強固なものとなります。」

「We All Speak Football」 ※日本でのスローガン使用は未定です。

新しいグローバルマーケティングスローガン「We All Speak Football」は、現在よりもう少し良い世界を作り上げるための方法として、「コカ・コーラ」の希望に満ちたビジョンを活気づけ、人々が個人の違いを気にせず連帯感を持てるようにすることを狙いとしています。

ザ コカ・コーラ カンパニーのシアグロブアルブランド部門シニアマーケティングバイスプレジデント、マーク・マシューは次のように語っています。

「『We All Speak Football』は、サッカーに対する普遍的な情熱と、活力をもたらすコカ・コーラの清涼飲料を結びつけるフレーズであるとともに、サッカーとコカ・コーラの両者がもたらす楽観主義と幸福感に対する合言葉なのです。」

憧れのトロフィーが東京へ

「We All Speak Football」というスローガンには、国境など私たちを取り巻く垣根を超越する、という意味があります。そのテーマの下でおこなわれる「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ™ トロフィーツアー」は、サッカー熱の高いことで有名な国々の他に、まだサッカーの基盤があまり確立されていない地域やサッカー一界最高峰のトロフィーを見る機会がほとんどない地域も巡ることも予定しています。

このトロフィーツアーは 1 月初旬に始まり、アフリカ、南北アメリカ、アジア、ヨーロッパを巡る予定です。世界にただ 1 つしか存在しない純金製の真の FIFA ワールドカップ™トロフィーがこれほど広範囲なツアーは行うのは初めてのことです。このトロフィーは FIFA ワールドカップ™の過去の優勝国以外では、一般の人々に公開されることは非常に稀となります。各国で催されるイベントが、2005 年に新たに製作された FIFA ワールドカップ™トロフィーが公開され、間近に見ることができる初めての機会となります。

日本では、2006 年 2 月 25 日に東京での開催を予定しています。

グローバル・プログラムのダイジェスト ※日本でのプログラム展開、映像使用は未定です。

ザ コカ・コーラ カンパニーは、「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ™ トロフィーツアー」と連動し、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ライト」、「パワーエイド」など、その他様々なブランドを通じて提供される、2006 FIFA ワールドカップドイツ大会™のための新たなプログラムの最終準備を進めています。

具体的プログラムとして「コカ・コーラ 2006 FIFA ワールドカップ™国際フラッグベアラーズ ユースプログラム」、「コカ・コーラ レフェリー・エスコート・プログラム」、ファンを招待して各国代表チームを応援するフィールド設置広告の制作に携わっていただく「スタジアム・アート・プラスプログラム」、予選ラウンドや FIFA ワールドカップ™決勝のチケットを賞品とする消費者プロモーション、2006 FIFA ワールドカップドイツ大会™で使用された adidas®公式試合球のプレゼントキャンペーンなどが計画されています。

また、「We All Speak Football」をテーマとする、テレビや映画を通じたコカ・コーラの広告が、さまざまな国でスタートします。第一弾として、コカ・コーラの南米部門が制作した「Rivalries (対抗心)」や、「Peace Ball (平和のボール)」が公開されます。その他新たな広告キャンペーン映像は現在制作中です。

2010 年 FIFA ワールドカップ™チケット基金

2006 年以降について、ザ コカ・コーラ カンパニーが締結した新しい FIFA パートナー契約には、2010 FIFA ワールドカップ™の割引チケットの分配枠を得た共同の取り組みが含まれています。「We All Speak Football」スローガンに基づき、コカ・コーラと FIFA は協働で、2010 年 FIFA ワールドカップ™チケット基金を通じて、チケットを入手できない境遇にある南アフリカの人々が試合を観戦できるようにするものです。

ザ コカ・コーラ カンパニーは、世界最大の飲料会社です。世界で最も価値の高いブランドとして知られている「コカ・コーラ」をはじめ、「ダイエット コーク」「ファンタ」「スプライト」など世界のトップブランド 5 銘柄のうち 4 つを販売しています。その他にも、ダイエット飲料およびライト飲料、水、果汁飲料および低果汁飲料、お茶、コーヒー、スポーツ飲料などの幅広いカテゴリーの飲料を販売しています。世界でも最大の飲料流通システムを通じて、200 カ国以上の消費者が毎日 10 億杯以上の割合で、ザ コカ・コーラ カンパニーの飲料を愛飲しています。ザ コカ・コーラ カンパニーに関する詳しい情報は、当社ホームページ www.coca-cola.com をご覧ください。

<参考資料>

「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ™ トロフィーツアー」

2006 年想定順路(2005/11/22 現在)

アクラ, ガーナ	1 月 7 日
ラゴス, ナイジェリア	1 月 11 日
ダルエスサラーム, タンザニア	1 月 14 日
ヨハネスブルグ, 南アフリカ	1 月 17 日
リオデジャネイロ, ブラジル	1 月 20 日
サンパウロ, ブラジル	1 月 22 日
マルデルプラタ, アルゼンチン	1 月 25 日
キト, エクアドル	1 月 28 日
ボゴタ, コロンビア	1 月 31 日
アスンシオン, パラグアイ	2 月 4 日
サンジョゼ, コスタリカ	2 月 8 日
メキシコシティ, メキシコ	2 月 11 日
モンテレー, メキシコ	2 月 13 日
ポートオブスペイン, トリニダードトバゴ	2 月 17 日
ロサンジェルス, 米国	2 月 20 日
東京, 日本	<u>2 月 25 日</u>
ソウル, 韓国	2 月 28 日
シンガポール, シンガポール	3 月 3 日
ジャカルタ, インドネシア	3 月 6 日
クアラルンプール, マレーシア	3 月 9 日
バンコク, タイ	3 月 12 日
北京, 中国	3 月 15 日
上海, 中国	3 月 17 日
リヤド, サウジアラビア	3 月 20 日
ロンドン, イギリス	3 月 23 日
チューリッヒ, スイス	3 月 26 日
ロストフ, ロシア	3 月 29 日
キエフ, ウクライナ	4 月 1 日
イスタンブール, トルコ	4 月 4 日
アテネ, ギリシャ	4 月 7 日
ローマ, イタリア	4 月 10 日